

>> MPSの概要とそれを実現するための技術的課題について概説し、関連する製品の開発状況について世界的動向を紹介
 >> 細胞、チップ、流路における規格を適切に設定する必要が求められる規格や標準化の必要性を考察し、具体的な事例を紹介

【Live配信(リアルタイム配信)】 MPS (Microphysiological System)を用いた 医薬品安全性評価技術と国内外の研究開発動向



～ヒト試料を用いたin vitro細胞アッセイへの移行～
 生体模倣システム(Microphysiological System: MPS)

| | | | |
|-----|---|----|-------------------------------|
| 日時 | 2020年10月21日(水) 13:00～16:30 | 会場 | Live配信セミナー ※会社・自宅にいながら学習可能です※ |
| 受講料 | 49,500円 ⇒テレワーク応援キャンペーン 【Live配信/WEBセミナー受講限定】 1名申込みの場合:受講料 定価:35,200円/S&T会員 33,440円 ※ 同一企業から複数名S&T会員で受講される場合は本割引ではなく、「2名同時申込みで1名分無料」割引を適用させていただきます。 | | 資料付 |

第1部 13:00～14:30 『MPS (Microphysiological System)の技術的課題と国内外の研究開発情勢』

講師 国立研究開発法人産業技術総合研究所 細胞分子工学研究部門 上級主任研究員 博士(工学) 金森 敏幸 先生

趣旨 MPSとは、MEMS(Micro Electro Mechanical Systems)技術を用いて作製された微小な空間において、生体(in vivo)に近い培養環境を再構築したin vitro培養系のことである。
 本講座ではMPSの概要とそれを実現するための技術的課題について概説し、関連する製品の開発状況について世界的動向を紹介する。

| | | | |
|-------|--|---|--|
| プログラム | 1. 背景 | 2. MPSの技術的課題 | 3. 国内外での研究開発状況 |
| | 1.1 創薬プロセス 1.2 化学物質(医薬品・化粧品・農薬等)の研究開発における課題 1.3 化学物質評価のジレンマ 1.4 MPSが生まれた技術的背景 | 2.1 細胞源 2.2 組織/臓器特異的機能の誘導 2.3 組織/臓器結合技術 2.4 On-chip検出技術 2.5 チップ製造技術 | 3.1 NCATS/NIHを中心とした米国での動向 3.2 欧州の概要 3.3 中国、他 3.4 我が国におけるAMED-MPSプロジェクトの紹介 |
| | | | 4. まとめ □質疑応答□ |

第2部 14:45～16:15 『MPS (Microphysiological System)を用いた医薬品安全性評価技術の社会実装へむけた取り組み』

講師 崇城大学 生物生命学部 応用生命科学科 生命医薬科学講座 教授 博士(薬学) 石田 誠一 先生
 【元 国立医薬品食品衛生研究所 薬理部第三室長】

趣旨 医薬品開発過程の効率化として、ヒト試料を用いたin vitro細胞アッセイへの移行が求められている。それを満たす解決手段の一つとしてMPSへの期待は大きい。一方で、MPSが製品開発の段階から抜けだし実用段階に移行するためには、従来の培養手法とは異なるMPSによる細胞培養特有の課題も指摘されている。MPSの技術要素と社会実装されていくための解決すべき課題について議論したい。

| | | | |
|-------|----------------------|--|----------------------------------|
| プログラム | 1. 新規in vitro試験法の必要性 | 3. iPSC細胞由来臓器細胞を用いる医薬品安全性評価 | 5. 人体模倣システム(MPS)に期待される性能基準 |
| | 2. 新規試験法の標準化のステップ | 4. 先進的な細胞培養を用いる医薬品安全性評価 ー生体模倣システム(MPS)ー | 6. レギュラトリーサイエンスからみた新規in vitro試験法 |
| | | | □質疑応答□ |

■質疑応答(全体):16:15～16:30

本セミナーはビデオ会議ツール「Zoom」を使ったライブ配信となります。予め「Zoom」のインストールが可能か、接続可能か等をご確認ください。
 セミナー資料(製本テキスト)はお申し込み時のご住所へ開催日4.5日前に発送予定させていただきます。詳細はホームページをご確認下さい。

■2名同時申込みで1名分無料■
 (1名あたり定価半額の24,750円)

※2名様ともS&T会員登録をしていただいた場合に限りです。 ※他の割引は併用できません。
 ※同一法人内(グループ会社でも可)による2名同時申込みのみ適用いたします。
 ※3名様以上のお申込みの場合、左記1名あたりの金額で受講できます。
 ※受講券、請求書は、代表者にご郵送いたします。
 ※請求書および領収書は1名様ごとに発行可能です。(通信欄に「請求書1名ごと発行」と記入ください。)

※講師、プログラムの内容が変更になる場合もございます。最新の情報はHPにてご確認ください。※申込用紙が複数枚必要な場合等は、本用紙をコピーしてお使いください。

セミナー申込用紙 C201020 (MPS)

| | | | |
|------------|---------------------------------|--|--|
| 会社名 団体名 | | | |
| 部署 | | | |
| 役職 | 〒 | | |
| ふりがな | 住所 | | |
| 氏名 | | | |
| TEL | FAX | | |
| E-mail | ※申込みに関する連絡に使用するため、可能な限りご記入ください。 | | |

※太枠の中をご記入下さい。 ※□にチェックをご記入ください。
 ※E-mailアドレスまたはFAX番号を必ずご記入下さい。

| | |
|---|--|
| 今後のご案内 <input type="checkbox"/> E-mail希望・登録済み) S&T会員価格を <input type="checkbox"/> 郵送希望・登録済み) 適用いたします。 <input type="checkbox"/> 希望しない) (E-mailアドレス必須) | |
| お支払方法 <input type="checkbox"/> 銀行振込 (振込予定日 月 日) | |
| 通信欄 | |

●受講料について
 「2名同時申込みで1名分無料」については上記の注意事項をお読みください。
 ●お申込みについて
 申込用紙に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
 また、当社ホームページからでもお申込みいただけます。
 お申込みを確認次第、請求書・受講券・会場案内図をお送りします。
 ●お支払いについて
 受講料は、銀行振込(原則として開催日まで)、もしくは当日現金にてお支払いください。
 銀行振込の場合、原則として領収書の発行はいたしません。
 振込手数料はお客様が負担ください。

●個人情報の取り扱いについて
 ご記入いただいた個人情報は、事務連絡・発送の他、情報案内等に使用いたします。
 詳しくはホームページをご覧ください。
 ●キャンセル規定
 開催日から逆算(営業日:土日・祝祭日等を除く)いたしまして、
 ・開催7日前以前のキャンセル: キャンセル料はいただきません。
 ・開催3～6日前でのキャンセル: 受講料の70%
 ・開催当日～2日前でのキャンセル・欠席: 受講料の100%
 ※ご注意※ 参加者が最少催行人数に達しない場合など、事情により中止になる場合がございます。

S&T サイエンス & テクノロジー
 研究・技術・事業開発のためのセミナー/書籍
 サイエンス&テクノロジー株式会社
 TEL 03-5733-4188 FAX 03-5733-4187
 〒105-0013
 東京都港区浜松町1-2-12 浜松町F-1ビル7F
<http://www.science-t.com>